

# 地域で自立したバイオマスエネルギーの活用モデルを 確立するための実証事業

平成31年度予算案額 **12.5億円（23.0億円）**

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- バイオマスは、再生可能な、生物由来の有機性資源で地域活性化にも資するエネルギー源ですが、コスト等の課題を克服し、経済的に自立したバイオマスエネルギーの導入が期待されています。
  - バイオマスエネルギー導入にあたって必要な、経済的に自立したエネルギー利用システムに関して、以下のように、導入要件・技術指針と具体的な事業モデルを明確化します。
- ① バイオマスの種類毎（未利用木材、畜産廃棄物、都市ごみ等）に経済的に自立可能な要件及び要素技術を洗い直し、導入要件・技術指針としてまとめます。
  - ② 実証事業に向けた事業性調査（FS）を行います。
  - ③ 事業採算性の見込みのある事業に対し、導入要件・技術指針に合致したモデル実証と、改良が必要な技術の開発を行います。
  - ④ 開発及び実証の成果を反映させた導入要件・技術指針と共に、事業モデルを公開し、更なる導入促進に貢献します。

### 成果目標

- 平成26年度から平成32年度までの7年間の事業であり、実証事業（6件以上）による事業モデルを提示することで、国内におけるバイオマスエネルギーの導入促進と経済的に自立した事業運営、及びそれに伴うバイオマス産業育成に貢献することを目指します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

